

NSG

GROUP

**NSGグループ
2009年3月期(FY09)第3四半期決算**

**日本板硝子株式会社
2009年2月13日**

スチュアート・チェンバース — CEO

マイク・パウエル — GFD

NSGグループ第3四半期決算概要

(2008年4月-12月)



- 決算概要
- 需要及び事業状況
- 構造改革施策
- 2009年3月期業績見通し
- まとめ

要点(2008年4月-12月)

- 全事業部門における、あらゆる市場でかつてない市場環境の悪化
- 大きなコストプッシュが継続
- NHテクノ持分の売却
- ネット借入は、2008年4月1日から520億円あまり削減し2760億円に

連結損益計算書 (累計期間)

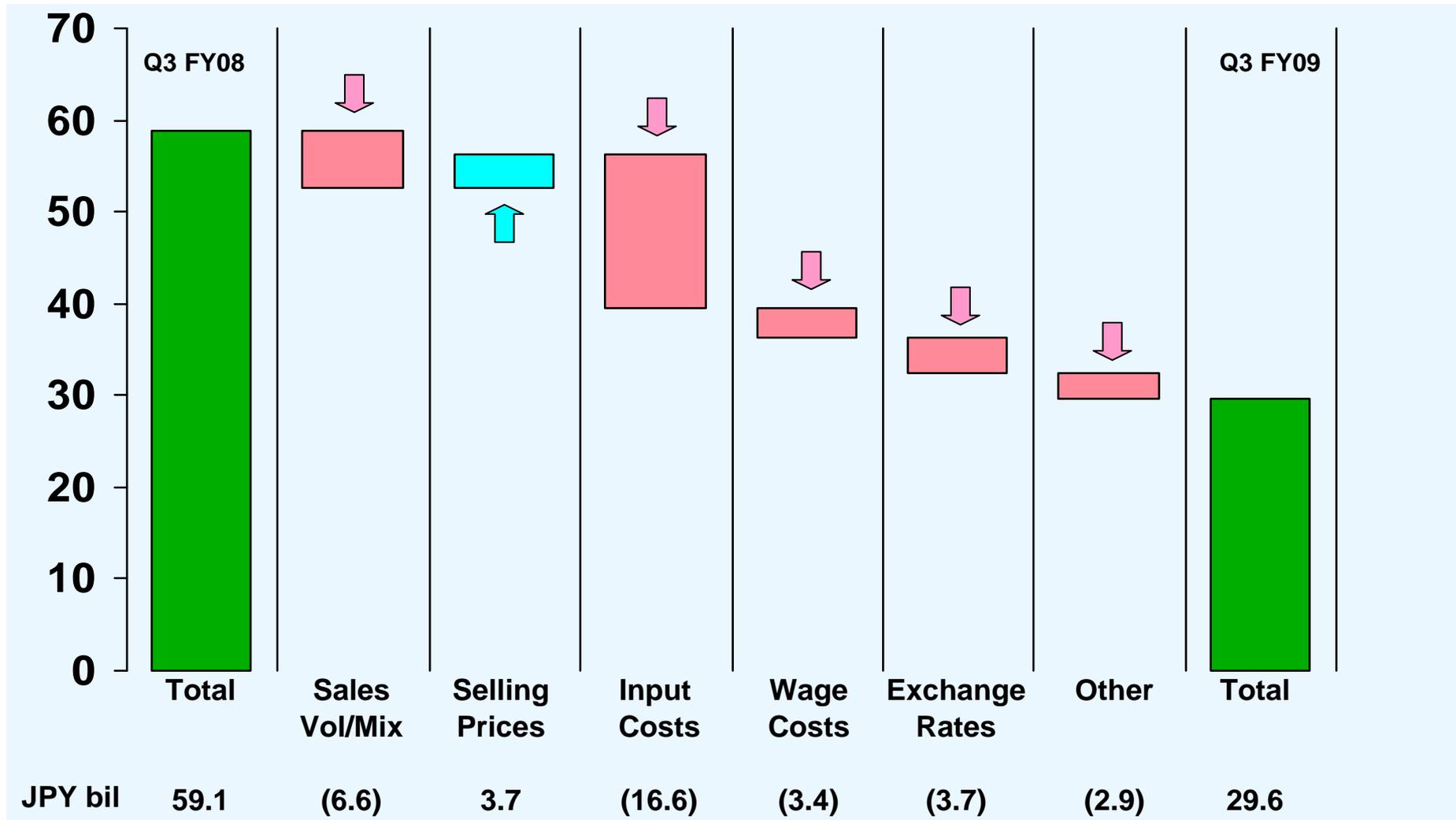
(JPY bil)	Q3 FY09	Q3 FY08	Change from FY08
売上高	586.4	648.6	-10%
暖簾等償却前営業利益*	29.6	59.1	-50%
暖簾等償却費	(16.2)	(18.3)	
営業利益	13.4	40.8	-67%
営業外損益	(8.8)	(11.8)	
経常利益	4.6	29.0	-84%
特別損益	25.8	48.5	
税前利益	30.4	77.5	-61%
当期純利益	10.5	60.8	-83%
EBITDA	64.5	96.7	-33%

*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

FY09:2009年3月期、FY08:2008年3月期

営業利益の急激な減少

暖簾等償却前営業利益差異分析



大きくコストプッシュ

営業外損益 (累計期間)

	Q3 FY09 (JPY bil)	Q3 FY08 (JPY bil)
受取利息・受取配当	5.3	6.1
支払利息	(15.9)	(18.8)
持分法投資損益(継続)	3.8	4.7
持分法投資損益(非継続)	0.0	3.8
雑損益	(2.0)	(7.6)
	(8.8)	(11.8)

借入削減に伴い支払い利息減少

特別損益 (累計期間)

	Q3 FY09 (JPY bil)	Q3 FY08 (JPY bil)
有価証券売却益	7.7	13.2
非継続事業譲渡益	0.0	31.9
関係会社株式売却益	30.0	0.0
固定資産売却益	0.3	2.5
減損損失	(1.2)	(1.3)
EU独禁法決定通知に伴う引当金繰入額	(8.4)	0.0
その他	(2.6)	2.2
	25.8	48.5

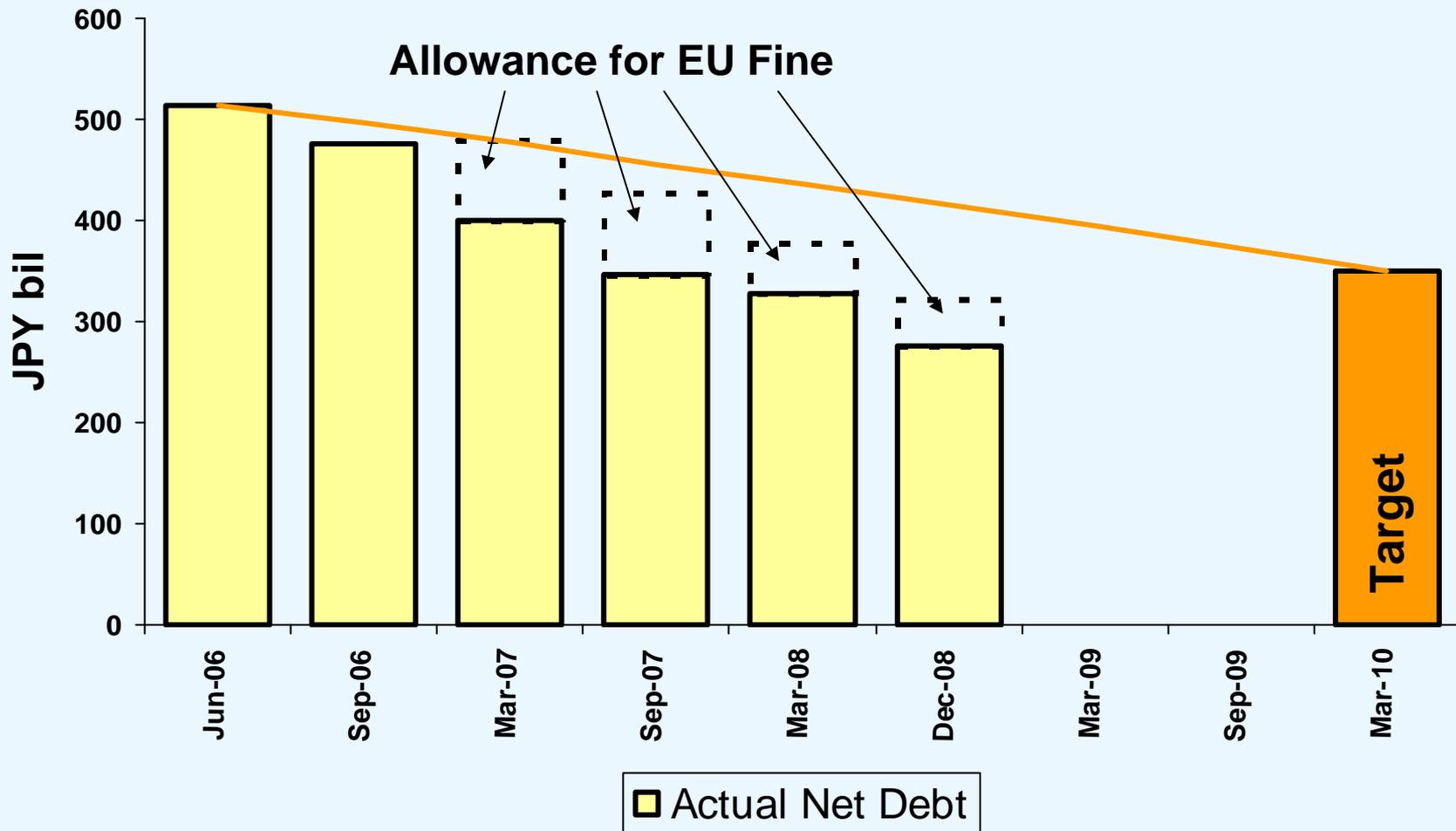
NHテクノ持分売却が大きく寄与

連結キャッシュフロー (累計期間)

	FY09 (JPY bil)	FY08 (JPY bil)	Change (JPY bil)
税金等調整前当期純利益	30.4	77.5	(47.1)
減価償却費及び暖簾償却費	51.1	55.9	(4.8)
運転資本の増減	(16.3)	(18.2)	1.9
利息及び税金等の支払額	(17.0)	(45.2)	28.2
関係会社株式等売却益	(37.7)	(45.2)	7.5
その他	7.5	11.3	(3.8)
営業活動によるキャッシュ・フロー	18.0	36.1	(18.1)
固定資産の取得	(34.2)	(33.6)	(0.6)
関係会社株式等売却による収入	52.0	84.0	(32.0)
その他	(8.0)	(5.1)	(2.9)
投資活動によるキャッシュ・フロー	9.8	45.3	(35.5)
フリーキャッシュフロー	27.8	81.4	(53.6)

資産売却がキャッシュ創出

ネット借入残高推移と目標



順調な借入削減の進捗

主要財務指標 (“KPI”: Key Performance Indicators)

	<u>31-Dec-08</u>	<u>31-Mar-08</u>
Net Debt (10 億円)	276	328
Net Debt / EBITDA	3.1x	2.7x
Net Debt/Equity Ratio	0.97	0.88
	<u>Q3 FY09</u>	<u>Q3 FY08</u>
EBITDA Interest Cover	5.5x	6.9x
営業利益率*	5.0%	9.1%

*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

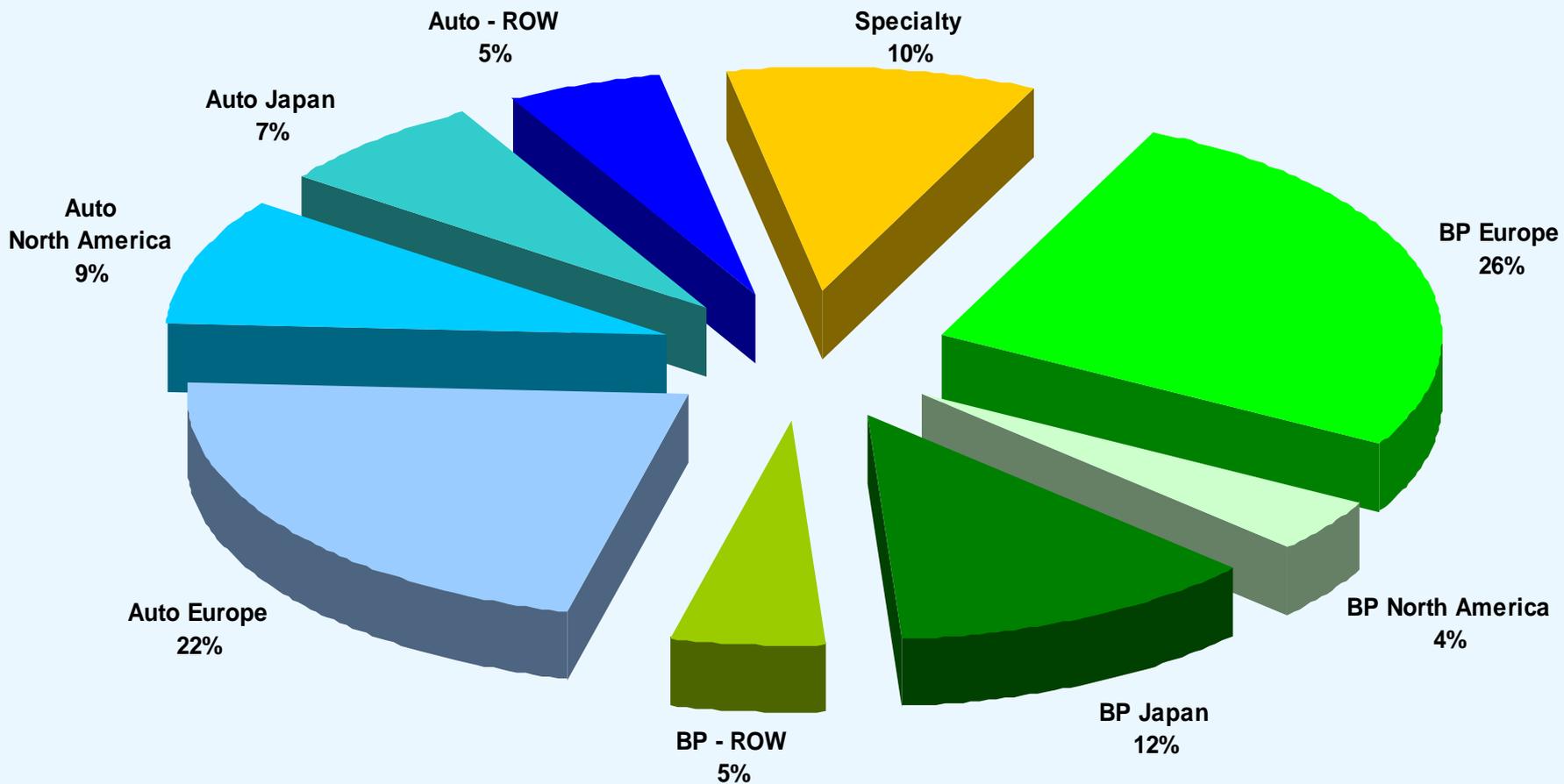
EBITDA減少による指標低下

NSGグループ第3四半期決算概要

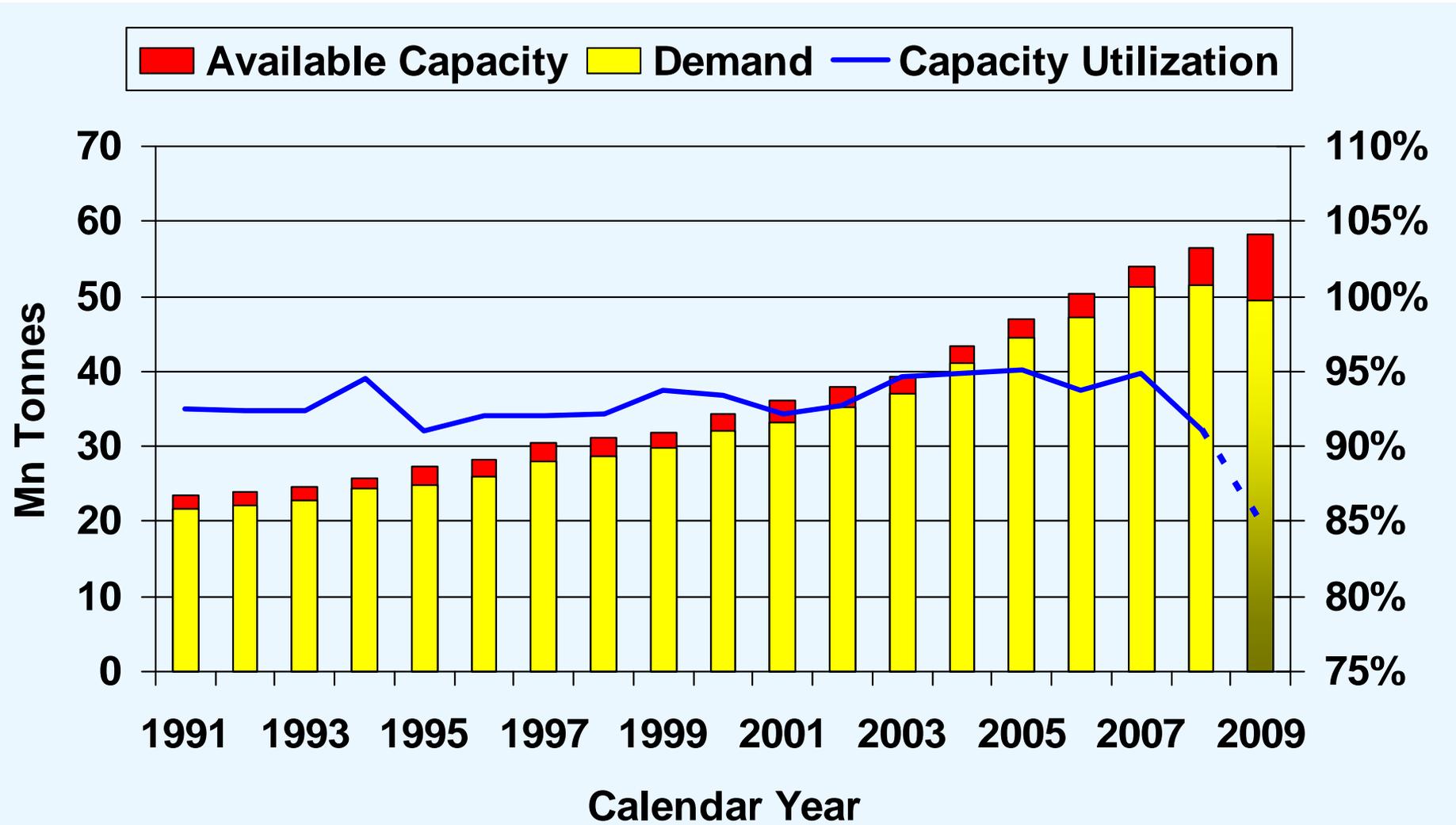
(2008年4月-12月)

- 決算概要
- 需要及び事業状況
 - 建築用ガラス事業
 - 自動車用ガラス事業
 - 機能性ガラス事業
 - ソーラー
- 構造改革施策
- 2009年3月期業績見通し
- まとめ

事業別売上高比率



世界の板ガラス業界生産能力と稼働率

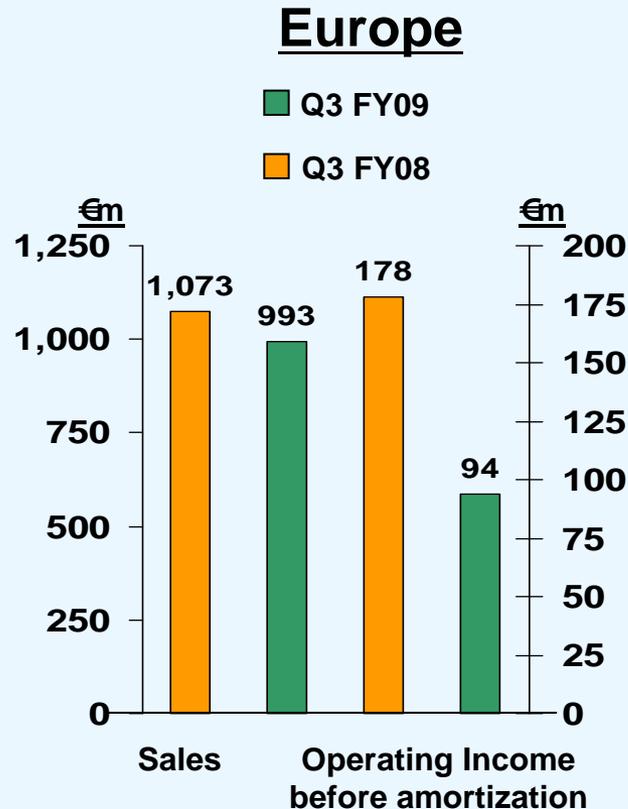


主要市場の業界ガラス需要まとめ

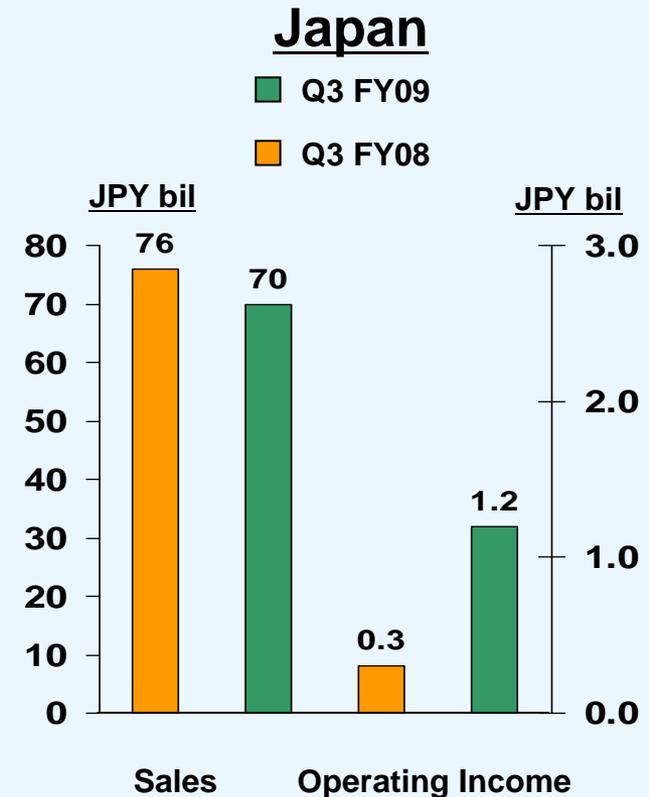
	CY08 vs. CY07	CY09 vs. CY08
Europe	-10%	-11%
US/Canada	-12%	-10%
Brazil	11%	-4%
Japan	-5%	-10%
Vietnam	-20%	-10%

2009年も需要減継続の見通し

BP 欧州及び日本-プロフォルマベース



- 価格・数量とも2008年9月より下落
- 投入コスト(購入資材費)高と売価低下により利益減少

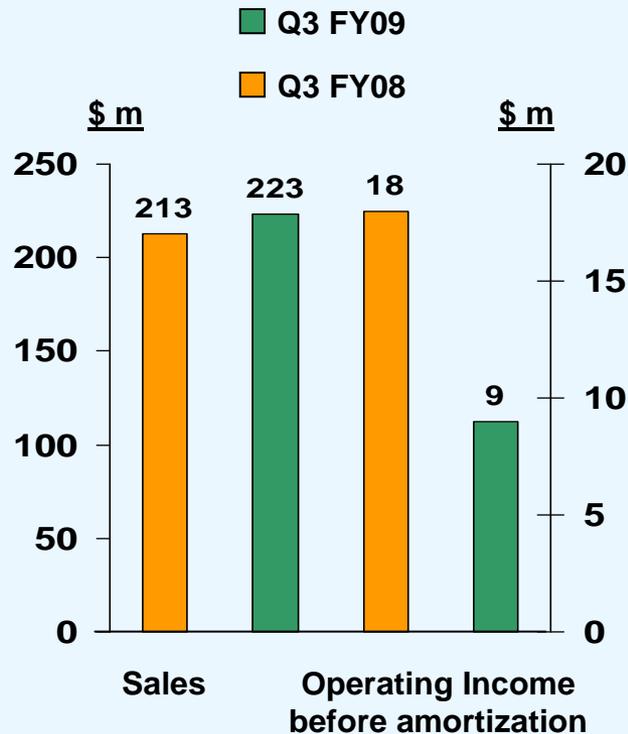


- 汎用品の数量は昨年より減少
- 値上げ、ミックス変化と構造改革効果により投入コスト高を相殺

注記) Amortization とはピルキントン社買収に伴う暖簾等償却のこと

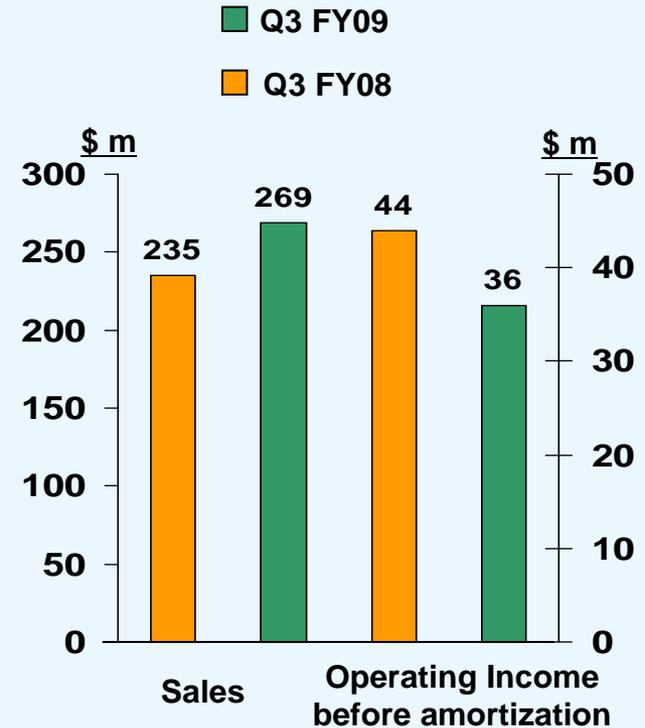
BP 北米及びその他地域-プロフォルマベース

North America



- 数量は2008年10月より減少。価格は昨年と比べて高水準だが、軟化しつつある
- 投入コスト高とフロート冷修休止により利益減少

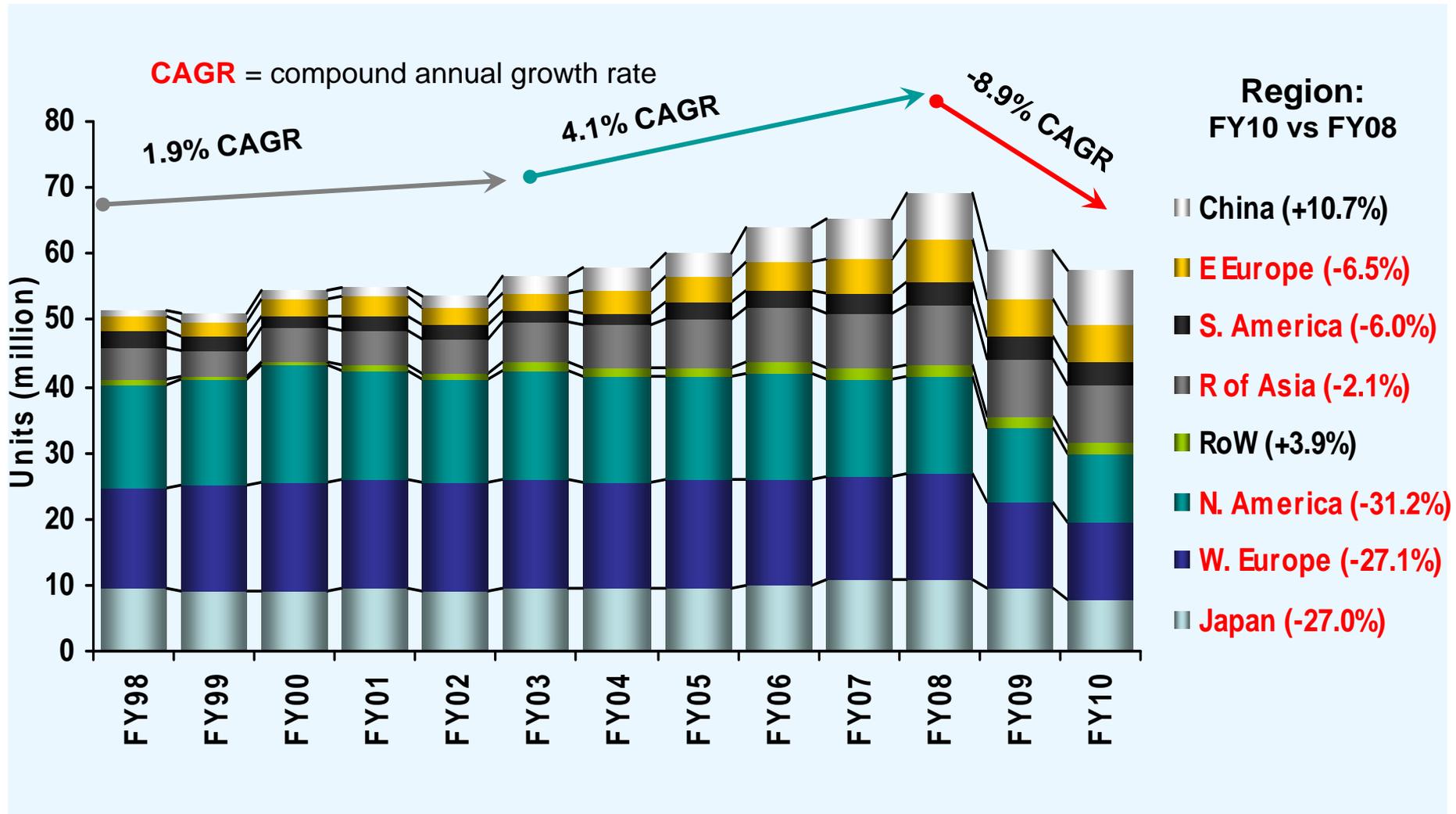
Rest of World



- 南米は、最近の市場成長率低下にもかかわらず利益は堅調
- 東南アジアは、市場冷え込む中、利益減少

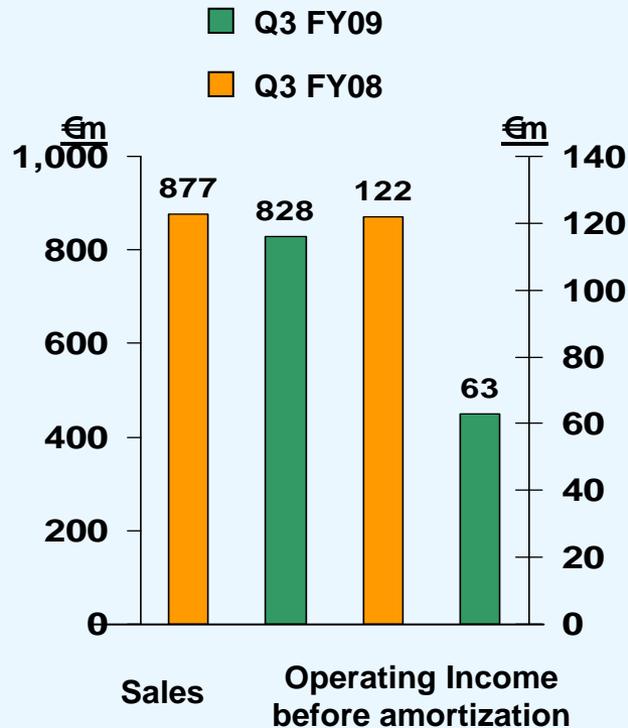
注記) Amortization とはピルキントン社買収に伴う暖簾等償却のこと

世界の自動車組み立て台数実績と見通し

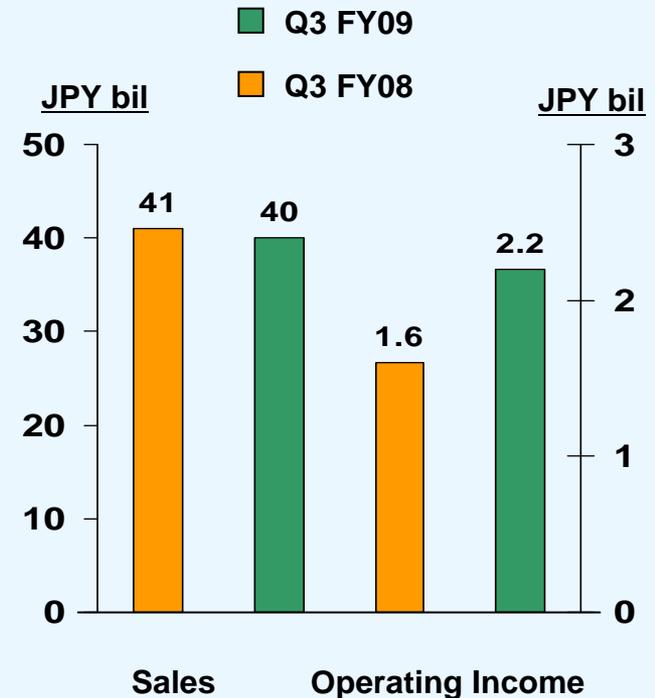


Automotive 欧州及び日本-プロフォルマベース

Europe



Japan



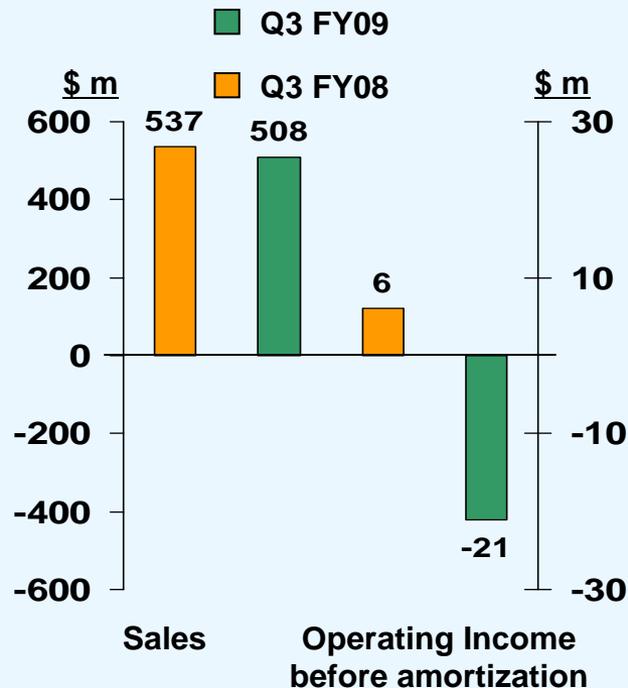
- OEは3Qで大きく需要下落。AGR需要も減少するが、下落幅は限定的
- 3Qでは過剰設備のコストが影響

- 売上は若干減少、数量は3Q以降に大きく減少
- 収益性改善とコスト削減が利益に寄与

注記) Amortization とはピルキントン社買収に伴う暖簾等償却のこと

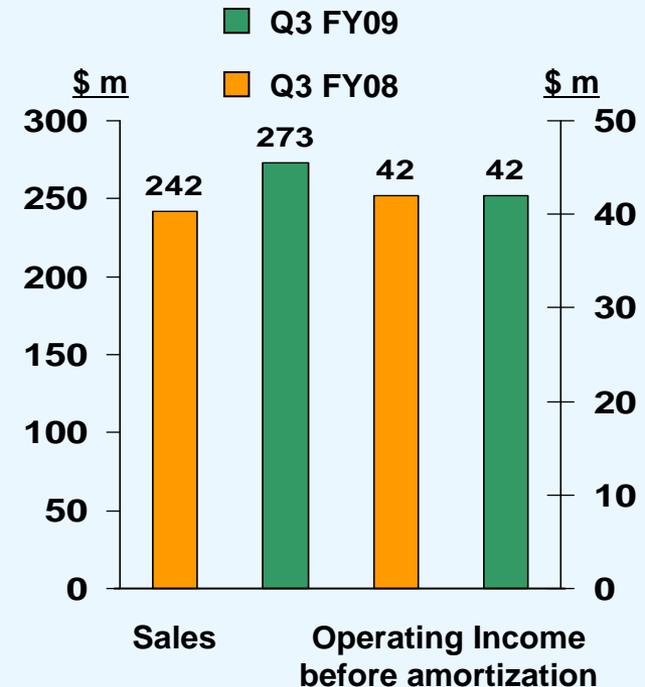
Automotive 北米及びその他地域-プロフォルマベース

North America



- OEは3Qで大きく需要下落。AGR需要も減少するが、下落幅は限定的
- 売上の低下とコストプッシュ、フロートの定期修繕により利益マイナス

Rest of World

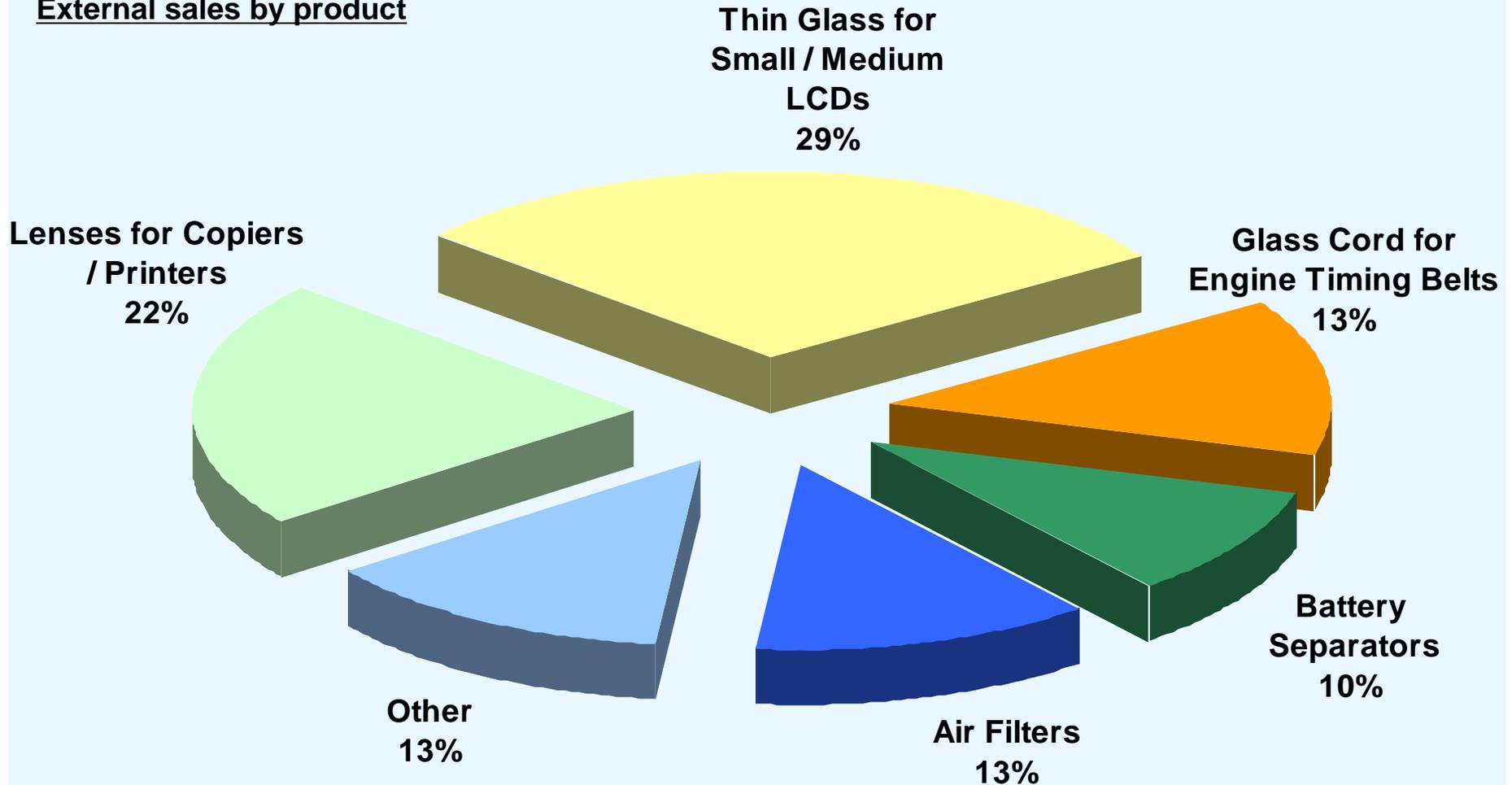


- 売上は比較的順調だが、成長率は3Q末までに低下し始めた。
- 収益性は好調を維持

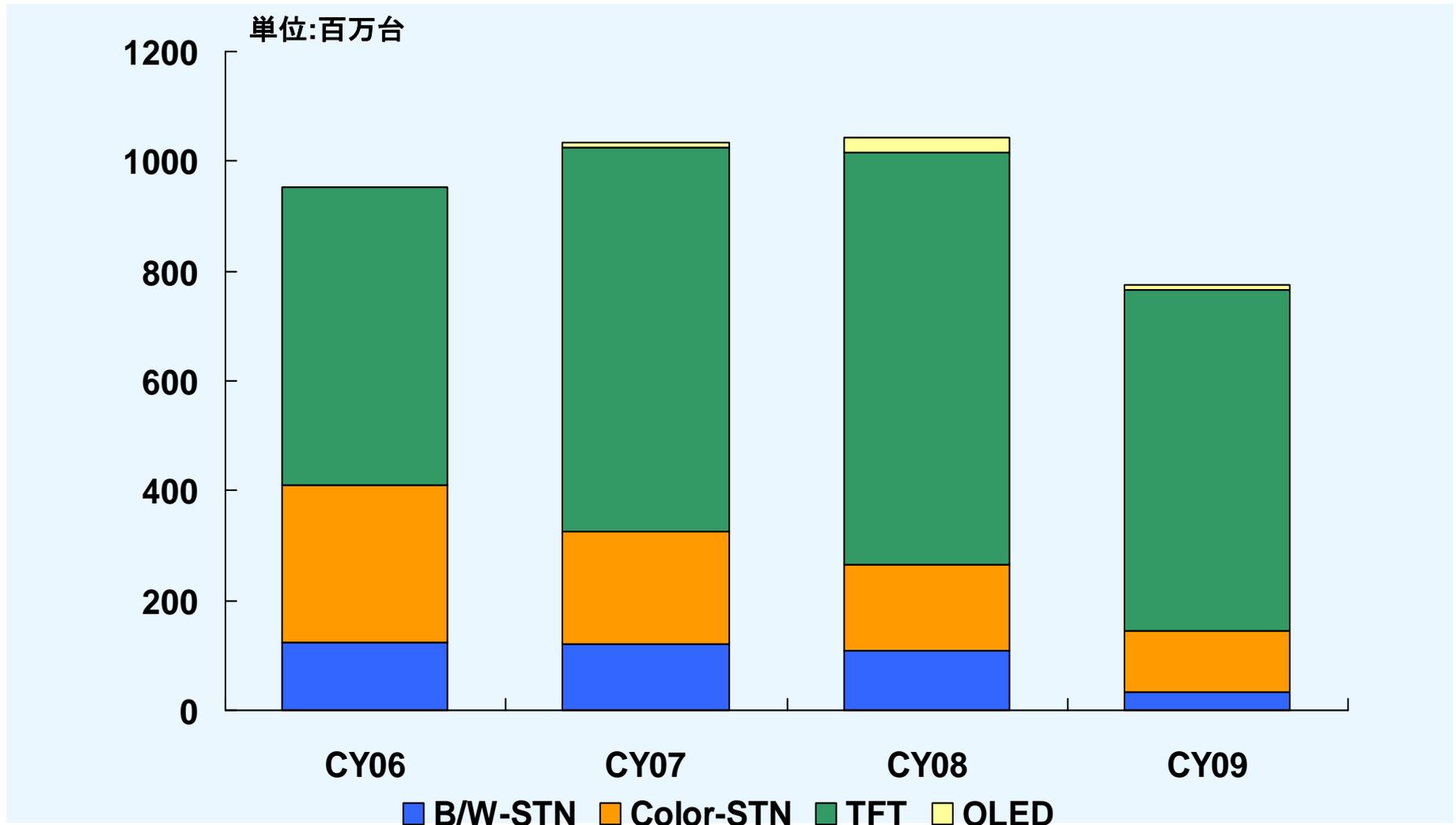
注記) Amortization とはピルキントン社買収に伴う暖簾等償却のこと

機能性ガラス売上高比率

External sales by product

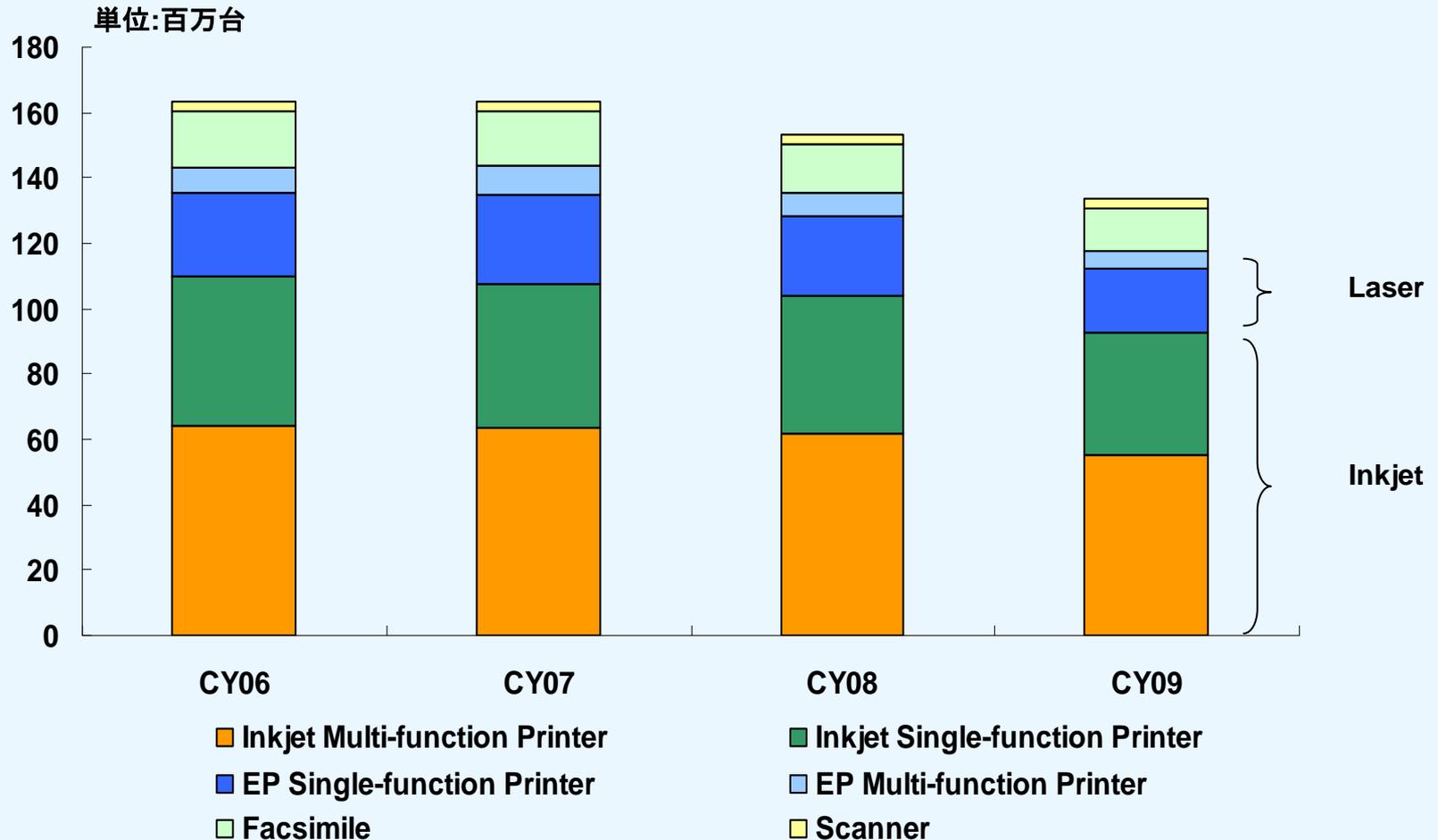


ディスプレイタイプ別世界の携帯電話市場



NSG Estimates

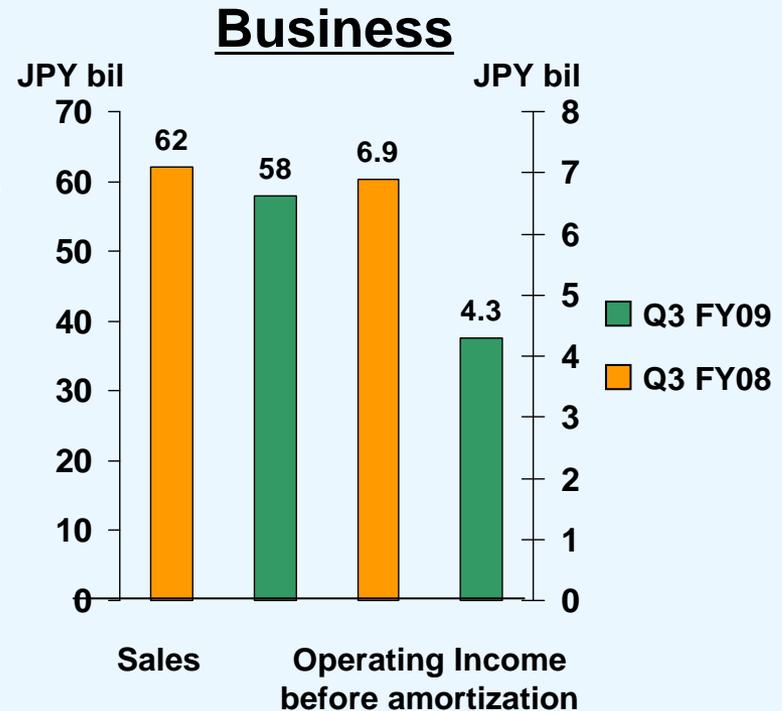
世界のプリンター、スキャナー等の市場



Source : JEITA & NSG estimation

機能性ガラス

- 関連する全ての市場で最近環境が大きく悪化
- ガラスコードとバッテリー用セパレーターは自動車市場減速の影響
- ディスプレイ、プリンター及びスキャナー用製品は家電市場の減速と円高の影響

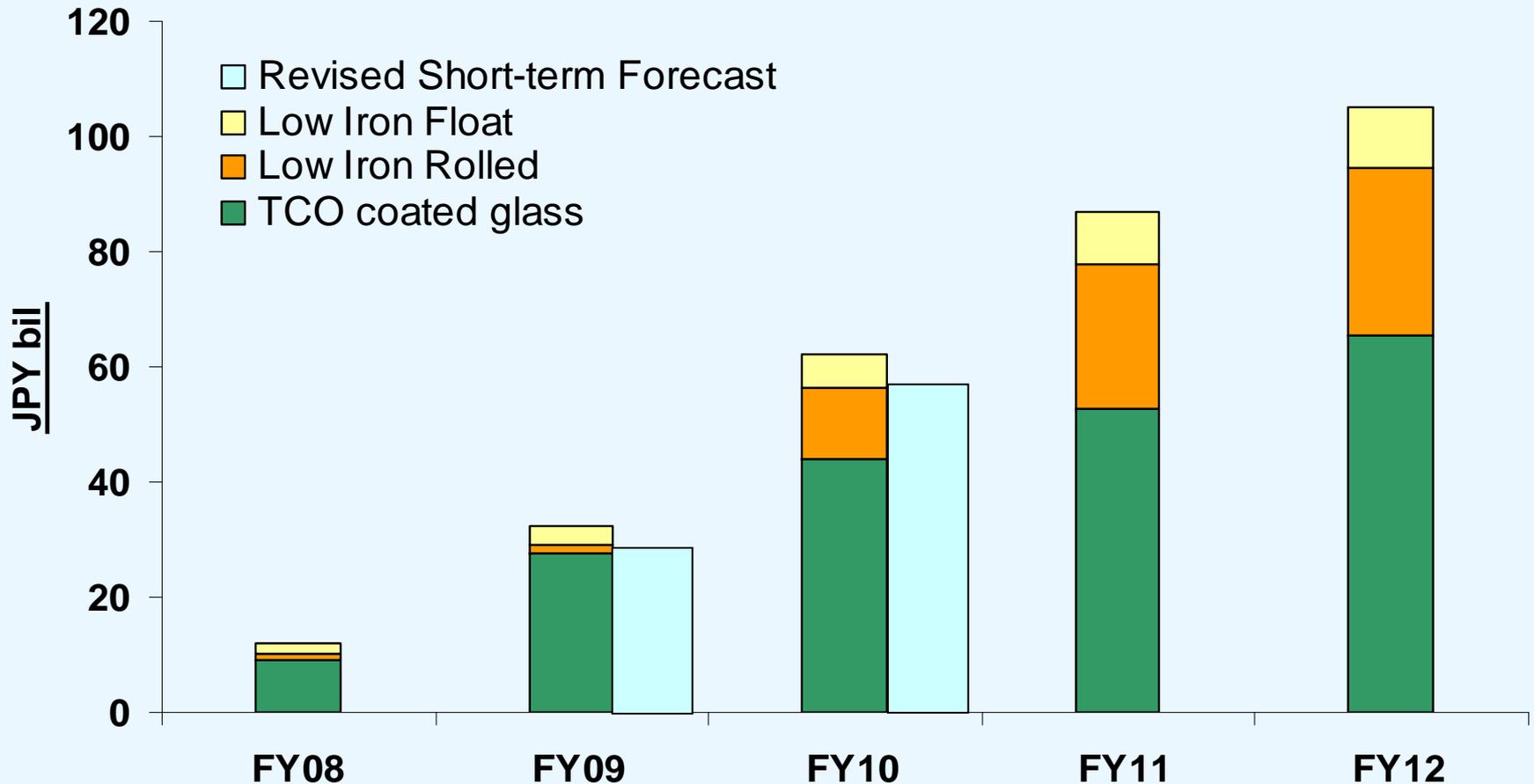


ソーラービジネスのアップデート

- 長期的には、すべての太陽光発電領域で市場成長が見込まれる
- 短期的には、特に結晶シリコンタイプ太陽電池において成長は鈍化
- NSGグループは、薄膜タイプ太陽電池用ガラスのリーダーとして、今後も引き続き生産能力拡大予定
- 結晶シリコンタイプ太陽電池用ガラスでも堅固なポジション。顧客のモジュール生産能力拡大に合わせて投資計画を策定
- FY2011には、グループ売上の10パーセントがソーラービジネス

NSGグループ ソーラー売上高

(見通し修正)



NSGグループ第3四半期決算概要

(2008年 4月－12月)

- 決算概要
- 需要と事業状況
- **構造改革施策**
- 2009年3月期業績見通し
- まとめ

構造改革施策

施策が必要な理由

- 当社はこれまで、「両社統合」、「借入削減」、「ソーラービジネスの発展」については大きな進展
- 一方、コストカット、一時的雇用・非正規雇用人員削減、運転資本の改善策などの施策にも以前より着手
- しかしながら、前例のない世界的な市場環境変化により、より抜本的な対策が必要と判断(09/1/29発表の通り)

目的

- 厳しい経済環境による短期的なEBITの減少に対応する
- ビジネスを維持保全し、2010年度に利益成長を再確立する

1月29日発表の諸施策について

諸施策

次の3分野にて実行

1. 人員削減
2. 生産能力削減
3. 投資計画の見直し

コスト見込み総額

今後2年間で220億円、内160億円は現金支出

効果見込み総額

2010年3月期中に発現:	80億円
2010年4月以降の年間効果:	150億円

構造改革施策 - 人員削減

- グループ全体で一時的雇用・非正規雇用人員について削減する施策を早期に実施
- 全ての事業で更なる削減を実施中
- 全体で全世界人員数のおよそ15パーセントを削減
- およそ3,000人の人員を2009年3月31日までに削減、2010年3月末までにさらに3,000人を削減

全世界人員数のおよそ15パーセントを削減

構造改革施策 - 生産能力削減

- 自動車用ガラスの生産能力をヨーロッパと北アメリカで削減。
- フロートガラス生産能力も、ヨーロッパで2ライン分、その他の地域で15パーセント分の生産能力を削減
- 機能性ガラスでは、ライン停止とシフト削減を実施

客先需要の減少に合わせて生産能力を調整

構造改革施策 - 投資計画の見直し

- 投資計画は、最新の市場と需要に合うように見直し
- 既存投資計画の一部は縮小あるいは延期する
- ソーラーは、成長のための重要領域であり、その比率は増やしていく

投資額は、償却費の70パーセント以下に

NSGグループ第3四半期決算概要

(2008年4月－12月)

- 決算概要
- 需要と事業状況
- 構造改革施策
- 2009年3月期業績見通し
- まとめ

2009年3月期業績見通し修正

以下の要因により2009年3月期業績見通しを修正:

- 需要減少 ▲200億円
- 構造改革費用増 ▲190億円

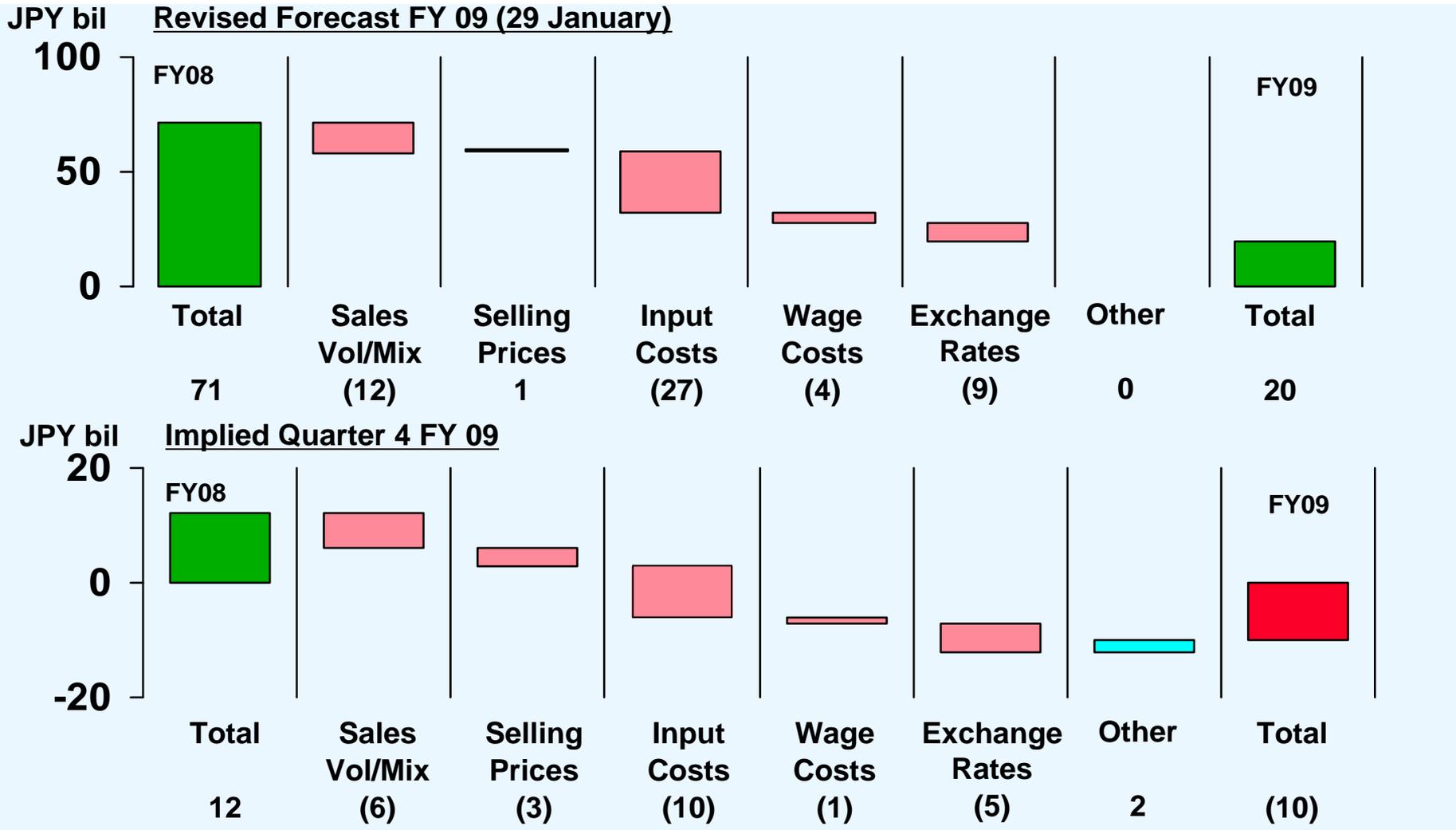
業績見通し

(JPY bil)	<u>Revised Forecast</u>	<u>Previous Forecast</u>
	<u>FY09</u>	<u>FY09</u>
売上高	750	810
暖簾等償却前営業利益*	20	40
暖簾等償却費	(20)	(20)
営業利益	0	20
営業外損益	(13)	(12)
経常利益	(13)	8
当期純利益	(22)	9

*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

市場環境変化及びその結果としての構造改革施策費を反映し業績見通しを修正

通期見通し及び4Q見通し営業利益差異分析



市場の低迷は続く見込み

NSGグループ第3四半期決算概要

(2008年 4月－12月)

- 決算概要
- 需要と事業状況
- 構造改革施策
- 2009年3月期業績見通し
- まとめ

まとめ

- 戦略的目標は引き続き十分な進捗
- 世界的な市場環境悪化が全ての事業に影響
- ソーラービジネスは成長持続
- 構造改革の目的は、2011年3月期からの利益成長を再確立

ご注意

- 当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。
- その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

Appendices

事業別売上 -Q3 FY09 (累計期間)

(JPY bil)	Japan	Europe	North America	Rest of World	Total
Building Products	70.3	149.6	23.0	27.7	270.6
Automotive	39.9	124.8	52.4	28.2	245.3
Specialty	34.6	6.4	1.9	15.2	58.1
Others	4.9	7.5	0.0	0.0	12.4
Total	149.7	288.3	77.3	71.1	586.4

暖簾等償却前営業利益－Q3 FY09 (累計期間)

(JPY bil)	Japan	Europe	North America	Rest of World	Total	Ratio on Sales
Building Products	1.2	14.1	0.9	3.8	20.0	7%
Automotive	2.2	9.5	(2.1)	4.3	13.9	6%
Specialty	3.0	0.4	0.0	0.9	4.3	7%
Others	(4.3)	(4.3)	0.0	0.0	(8.6)	
Total	2.1	19.7	(1.2)	9.0	29.6	5%
Ratio on Sales	1%	7%	-2%	13%	5%	

暖簾等償却後営業利益－Q3 FY09 (累計期間)

(JPY bil)	Japan	Europe	North America	Rest of World	Total	Ratio on Sales
Building Products	1.2	8.2	0.0	2.8	12.2	5%
Automotive	2.2	4.2	(3.7)	2.8	5.5	2%
Specialty	3.0	0.4	0.0	0.9	4.3	7%
Others	(4.3)	(4.3)	0.0	0.0	(8.6)	
Total	2.1	8.5	(3.7)	6.5	13.4	2%
Ratio on Sales	1%	3%	-5%	9%	2%	

前提為替レート

	Q3 FY08	FY08	Q3 FY09	FY09 Forecast
Average rates used:				
JPY/GBP	236	229	187	172
JPY/EUR	163	161	151	143
JPY/USD	117	114	103	100
Closing rates used:				
JPY/GBP	228	200	132	
JPY/EUR	169	157	127	
JPY/USD	115	100	91	

NSG

GROUP